

各支援センターの主な取り組み状況等

◆主な取り組み

今年度の前半も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域ケア会議の開催や「いきいき百歳体操」へのリハビリ専門職派遣等の支援は、計画通りの取り組みが出来ていないが、通いの場等の開催減少に対応するため、SNSによる情報発信や、各センターにおいて家庭でできるフレイル予防のチラシ等を作成して配布した。

実態把握や相談支援の面では、はがきの活用による状況の確認や、出張相談の拡充等を行い、必要な支援につなげる取り組みを行っている。

センター名	主な取り組み（上段）／課題や今後の取り組み（下段）
(基幹型) 三田市 地域包括 支援センター	<p>●認知症サポーターキャラバン キャラバン・メイトの養成 認知症サポーター養成講座の講師や認知症支援に関する地域のリーダー役となるキャラバン・メイトを養成する研修を三田市主催で宝塚市・伊丹市・猪名川町の共催で、7月2日に開催（53名参加のうち、三田市13名）。</p> <p>●地域ケア会議等開催の推進 各支援センターが他の地域で開催した地域ケア会議での検討内容等や虐待事例の対応等を共有し、各センターの取り組みに生かせるよう働きかけを行う。</p>
(地域型) 三田市 地域包括 支援センター	<p>●認知症の人及びその家族への支援 認知症の人に対し、総合事業通所型サービスBのボランティアスタッフとしての活動の場を調整。その他の活動への参加にもつなぎ、民生委員と共に活動することで地域に知ってもらえる機会となるとともに、家族の負担軽減にもつなげた。</p> <p>●成年後見制度の活用等 認知症カフェ等の認知症高齢者等の居場所づくり立ち上げのきっかけにつながるよう事業所等に働きかけをおこなっていく。</p>
フラワー 地域包括 支援センター	<p>●地域のネットワーク構築 弥生が丘校区、富士が丘校区で見守り会議の開催に向け、生活支援コーディネーターと連携し、事例検討等を実施。Facebook、LINEによる情報発信の実施。</p> <p>●認知症に関する知識や理解についての啓発 7月25日にオレンジリングproject を開催し、認知症当事者と家族による講演会を開催。</p> <p>●「いきいき百歳体操」の支援 地域内の「いきいき百歳体操」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動を休止しているところもある。また、再開されても感染を心配して参加を控える人もあることから、WITHコロナ下での介護予防の取り組みの必要性を伝えていく。</p>
ウッディ 地域包括 支援センター	<p>●実態把握 前年度の要援護高齢者調査の対象者に対して、継続して状況把握、関係構築にため訪問等を実施している。</p> <p>●「いきいき百歳体操」の支援 「いきいき百歳体操」を自宅で実施できるよう作成したパンフレットを地域のつどいの場やスーパー、薬局、商業施設等に配布した。</p> <p>●地域ケア会議の開催 今年度は地域ケア会議の開催にいたっていないが、ケアマネジャーや地域の活動者へ啓発を行い、生活支援コーディネーター等関係機関や地域との連携を意識して地域ケア会議の開催を進める。</p>
藍 地域包括 支援センター	<p>●総合相談支援・相談窓口の周知／介護予防の普及啓発 ・5月に支援センターたよりを郵送（247通：要援護高齢者調査により把握した高齢者）し、地域包括支援センター移行を周知した。 ・ほけん便り「フレイル予防について」を配布（市民センター、薬局等設置）した。</p> <p>●ケアマネジャーと協働した地域課題の把握 3センター（藍・三輪北小野高平・広野本庄）共同で、居宅介護支援事業所に地域課題の聞き取りをアンケートにより実施している。</p> <p>●認知症カフェの支援等、家族や当事者の交流機会の提供 認知症カフェに関心のある活動者に対して令和4年4月の立ち上げを目標に生活支援コーディネーターと協働してサポートを行う。</p>

<p>三輪北・ 小野・高平 高齢者 支援センター</p>	<p>●総合相談支援・地域のネットワーク構築 高平地区さとカフェにおいて、月1回の出張ふ・く・しよろず相談会を実施。また、志手原においても出張相談を開始している。</p> <p>●ケアマネジャーと協働した地域課題の把握 3センター（藍・三輪北小野高平・広野本庄）共同で、居宅介護支援事業所に地域課題の聞き取りをアンケートにより実施している。</p> <hr/> <p>●「いきいき百歳体操」の支援 地域内の「いきいき百歳体操」の実施状況を実施場所に向いて確認するとともに、参加されなくなった人が再度参加できるようきっかけづくりに協力する。</p>
<p>広野・本庄 高齢者 支援センター</p>	<p>●総合相談支援・地域のネットワーク構築 昨年度の個別地域ケア会議で、外出ボランティアとケアマネジャーをつなぐことができ、それ以降外出支援につながるケースが増えている。</p> <p>●ケアマネジャーと協働した地域課題の把握 3センター（藍・三輪北小野高平・広野本庄）共同で、居宅介護支援事業所に地域課題の聞き取りをアンケートにより実施している。</p> <hr/> <p>●総合相談支援・地域のネットワーク構築 本庄地区においても出張相談が実施できるよう関係機関と連携して取り組んでいく。</p>